

本プレスリリースは、米国ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンが発表したプレスリリースの和訳です。



ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョン、子どもの近視進行抑制のための治療用コンタクトレンズの提供に関して、メニコン社とグローバルな業務提携を発表

新たなコラボレーションは、革新的なコンタクトレンズの世界クラスのメーカーであるメニコン社の培ってきた実績と、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンの科学技術力と広範なイノベーションを集約

【2021年4月7日、米国フロリダ州ジャクソンビル】 Johnson & Johnson Medical Devices Companies^{**}の一部門であり、目の健康の世界的リーダーであるジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョン^{*}は本日、革新的な技術を有する屈指のコンタクトレンズメーカーであるメニコン社とのグローバルな戦略的業務提携を発表しました。本提携は、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンが科学をリードしながら、近視の未来の変革を目指すべく、子どもの近視進行抑制のための新しい製品とサービスからなるポートフォリオを提供する広範な取り組みの一環であります。

近視は目の健康において 21 世紀最大の脅威をもたらす、慢性的かつ進行性のある疾患です¹。12 歳以下の子どもが特に近視に罹患しやすく²、2050 年までに世界人口の半分以上が近視になり、10 億人が強度の近視になることが予測されています³。近視は、環境的要因と遺伝的要因の両方によって引き起こされるとされ、網膜の変性や剥離、白内障、緑内障のリスクを高めます。これらはいずれも視覚障害や失明につながる可能性があります⁴。

「何十年もの間、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンは、科学をリードし、近視と目の健康の未来を変革するという当社のビジョンを分かち合える学術センター、研究機関、主要な国際保健機関との共同研究に出資してきました」と、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケア^{***}のグローバルプレジデントであるピーター・メンジュースは述べています。「メニコン社との提携は、世界中の人々が視力を向上し、つながりを深め、健やかな暮らしを送れるよう支援するという我々のビジョンに向けた取り組みであり、子どもの近視進行抑制に役立つ、優れた製品ポートフォリオを提供するための新たな一歩となるでしょう。」

今回の提携の一環として、メニコン社は、子どもの近視進行抑制を目的とした治療用コンタクトレンズを開発・製造し、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンは、世界中でこのコンタクトレンズを広く普及させることに重点的に取り組みます。メニコン社との戦略的業務提携は、[眼科医向けの新しい推奨事項を盛り込んだ初の近視管理ガイド](#)の作成やシンガポール国立眼科センター（SNEC）およびシンガポール眼科研究所（SERI）との新たな [共同研究](#) に続き、拡大する近視の流行に対するジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンの新たな取り組みとなります。

「眼科医として、私たちは近視が進行・悪化した場合に及ぼす長期的な影響を理解しており、そうした場合には他の眼疾患や失明にすらつながりかねないのです」とイアン・フリッツクロフト教授（M.A.、Ph.D.、FRCOphth^{****}）は語っています。「安全なレベルの近視というものはなく、近視治療の選択肢をさらに増やすことが急務とされており、業界、眼科医、親御さんたちが連携して子どもたちの近視の進行を阻止することがさらに必要とされています。」

ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンの近視進行抑制に関する今後の製品やサービスの詳細について、眼科医の皆様には、www.jnjvisionpro.com/seemyopiaにアクセスし、ご覧いただけます。

将来の見通しに関する記述：

本プレスリリースには、新たな提携や製品開発に関連する、1995年米国民事証券訴訟改革法で定義された「将来の見通しに関する記述」が含まれています。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に依存しないよう注意してください。これらの記述は、将来の出来事に関する現在の予測に基づいたものです。基となる仮説が不正確であったり、既知または未知のリスクや不確実性が現実起こった場合、実際の結果は、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンおよび/またはジョンソン・エンド・ジョンソンの予測や見積もりとは実質的に大きく異なる可能性があります。リスクや不確実性には以下が含まれますが、これらに限定されません：提携に関連して期待される利益や機会が実現しない可能性や実現までに予想以上の時間がかかる可能性；臨床的成功の不確実性や規制当局による承認の取得などの新製品開発に特有の課題；技術の進歩、新製品、競合他社による特許取得などの競争；新製品の商業的成功の不確実性；当社が戦略的計画を首尾よく実行する能力；合併や売却の影響；特許異議の申立て；医療製品やサービスの購入者の行動および支出パターンの変化または経済的困難；および世界的な医療制度改革や医療費削減の傾向。これらのリスク、不確実性、その他の要因の詳細なリストと説明は、ジョンソン・エンド・ジョンソンの2021年1月3日を末日とする会計年度の年次報告書（様式10-K）（「将来の見通しに関する記述に関する注意事項」および「1A項. リスク要因」という見出しの項を含む）、当社の直近の四半期報告書（様式10-Q）、および当社が米国証券取引委員会に提出したその後の提出書類に記載されています。これらの提出書類のコピーは、www.sec.gov、www.jnj.comでオンラインで入手していただけるほか、ジョンソン・エンド・ジョンソンにご請求いただくこともできます。ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンおよびジョンソン・エンド・ジョンソンは、新たな情報または将来の出来事や進展の結果として将来の見通しに関する記述を更新することは保証いたしません。

ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョン* について

Johnson & Johnson Medical Devices Companies**の一部門であるジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンは、世界中の目の健康を変革するという大胆な目標を掲げています。事業会社を通じ、屈折異常、白内障、ドライアイなどのアンメットニーズに対応する製品や技術によって、眼科医の方々が患者さんの生涯を通じてより良い結果をもたらすことを可能にするイノベーションを実現します。最もニーズの高い地域で、質の高いアイケアへのアクセスを拡大するために協力して取り組んでおり、世界中の人々が視力を向上し、つながりを深め、健やかな暮らしを送れるように支援することに尽力しています。詳しくは jvision.com をご覧ください。また、Twitter では [@JNJVision](https://twitter.com/JNJVision)、LinkedIn では [ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョン](https://www.linkedin.com/company/jnj-vision)、Facebook では [@JNJVision](https://www.facebook.com/JNJVision) をフォローしてください。

Johnson & Johnson Medical Devices Companies** について

Johnson & Johnson Medical Devices Companies では、人々が最高の人生を送れるよう支援しています。1世紀を超える専門性を基盤として、医療の喫緊の課題に取り組み、人々の医療体験を向上させながら、新たな標準治療につながる大胆な取り組みを行っています。私たちは、外科、整形外科、眼科、インターベンショナルソリューションの分野で、あらゆる場所であらゆる人のために、命を救い、より健康的な未来への道を拓くお手伝いをしています。

© Johnson & Johnson Vision Care division of Johnson & Johnson Inc. 2021

* Johnson & Johnson Vision は、Johnson & Johnson Surgical Vision, Inc.、Johnson & Johnson Vision Care, Inc.、および両社の関連会社の製品およびサービスを表しています。

** Johnson & Johnson Medical Devices Companies は、ジョンソン・エンド・ジョンソンの医療機器セグメント内の外科、整形外科、眼科、インターベンショナルソリューションの各事業で構成されています。

***ピーター・メンジュローは、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョン, Inc の社員であり、ビジョンケアのグローバルプレジデントです。

****イアン・フリッツクロフト教授は、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョン, Inc.の有料コンサルタントです。

¹ JJV 社内資料

² 米国国立眼病研究所. Nearsightedness – Who is at Risk? (近視- リスクがあるのは誰か) <https://nei.nih.gov/healthyeeyes/myopia> で閲覧可. 2019年9月閲覧

³ ホールデン他. Ophthalmol 2016; 123: 1036.

⁴ [1]D.R. フレデリック (2002). Myopia (近視) BMJ, 324(7347), 1195-1199. doi:10.1136/bmj.324.7347.1195.